

2018年3月期 第2四半期決算説明会

2017年11月9日



(証券コード:9888)



CONTENTS

1. 2018年3月期第2四半期決算(連結)の解説
2. 今後の業績見通し

本資料は、2018年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また本資料は2017年11月9日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

2018年3月期第2四半期決算（連結）の概要

単位：百万円

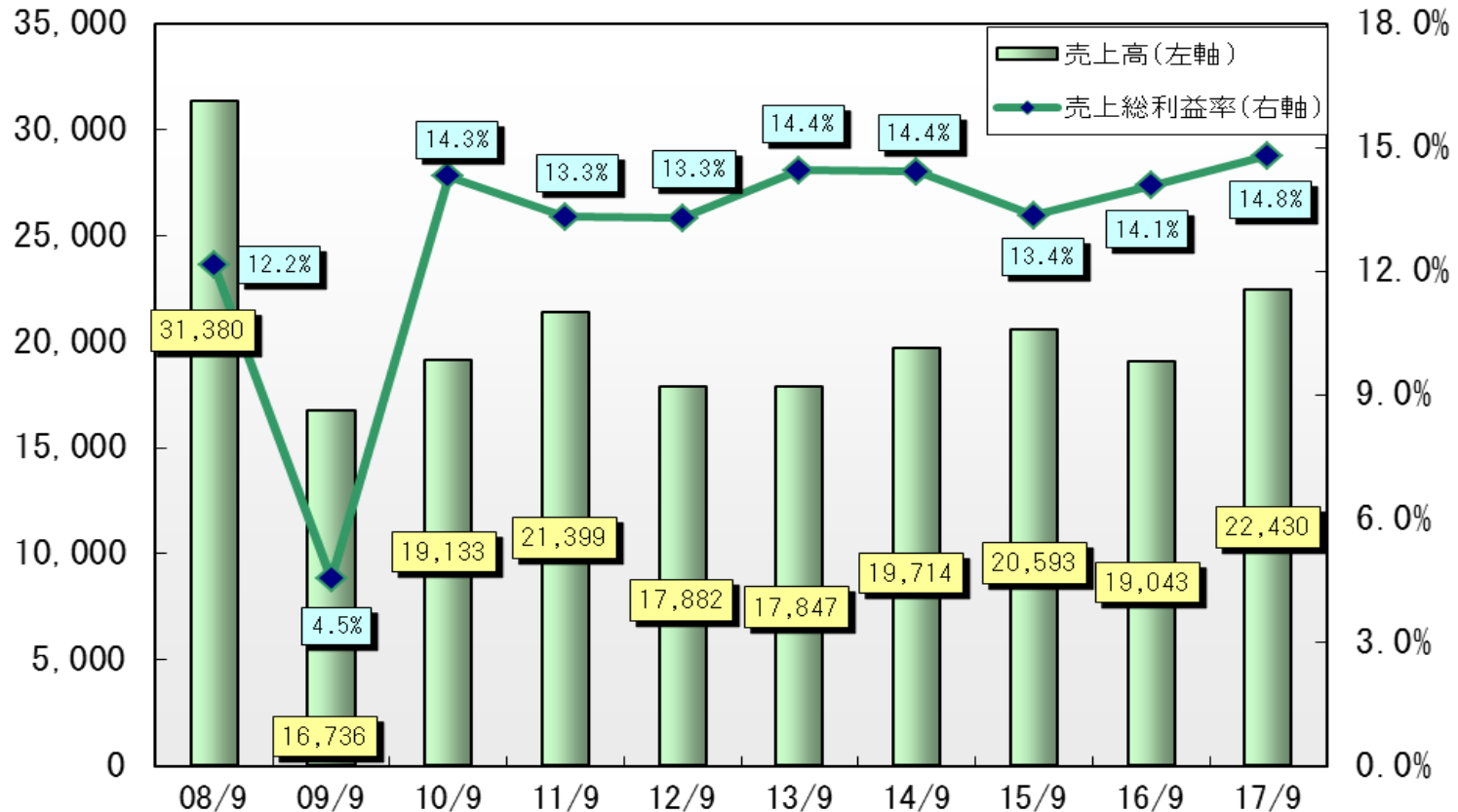
	16/9 実績	当初計画 (17/5/12)※	17/9 実績	前年 同期比	計画比
売上高	19,043	20,000～ 23,000	22,430	+17.8%	+12.2%～ △2.5%
売上総利益	2,683	2,972～ 3,285	3,321	+23.8%	+11.7%～ +1.1%
（率）	(14.1%)	—	(14.8%)	(+0.7%pt)	—
営業利益	206	400～ 550	706	+242.7%	+76.5%～ +28.4%
経常利益	181	400～ 550	723	+299.8%	+80.8%～ +31.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	105	250～ 350	513	+388.1%	+105.2%～ +46.6%

※その後17/10/25に修正しております。

- ステンレスの販売数量が増加、販売価格も上昇し増収。
- 売上高の増加と市況に対応した価格改定により売上総利益率が上昇し増益。

売上高・売上総利益率推移(連結)

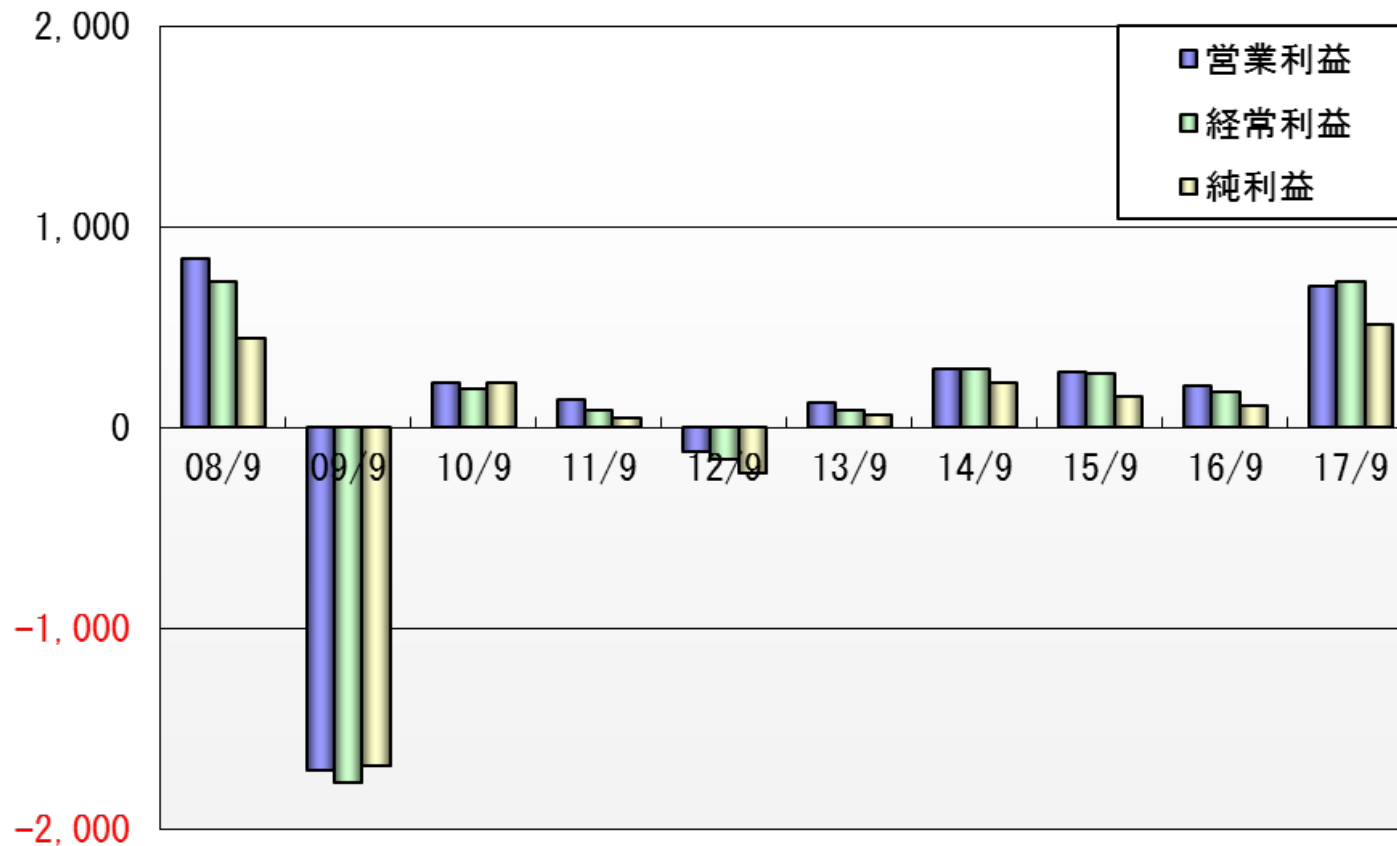
単位：百万円



■ 売上高は前年同期を上回り、売上総利益率も上昇傾向。

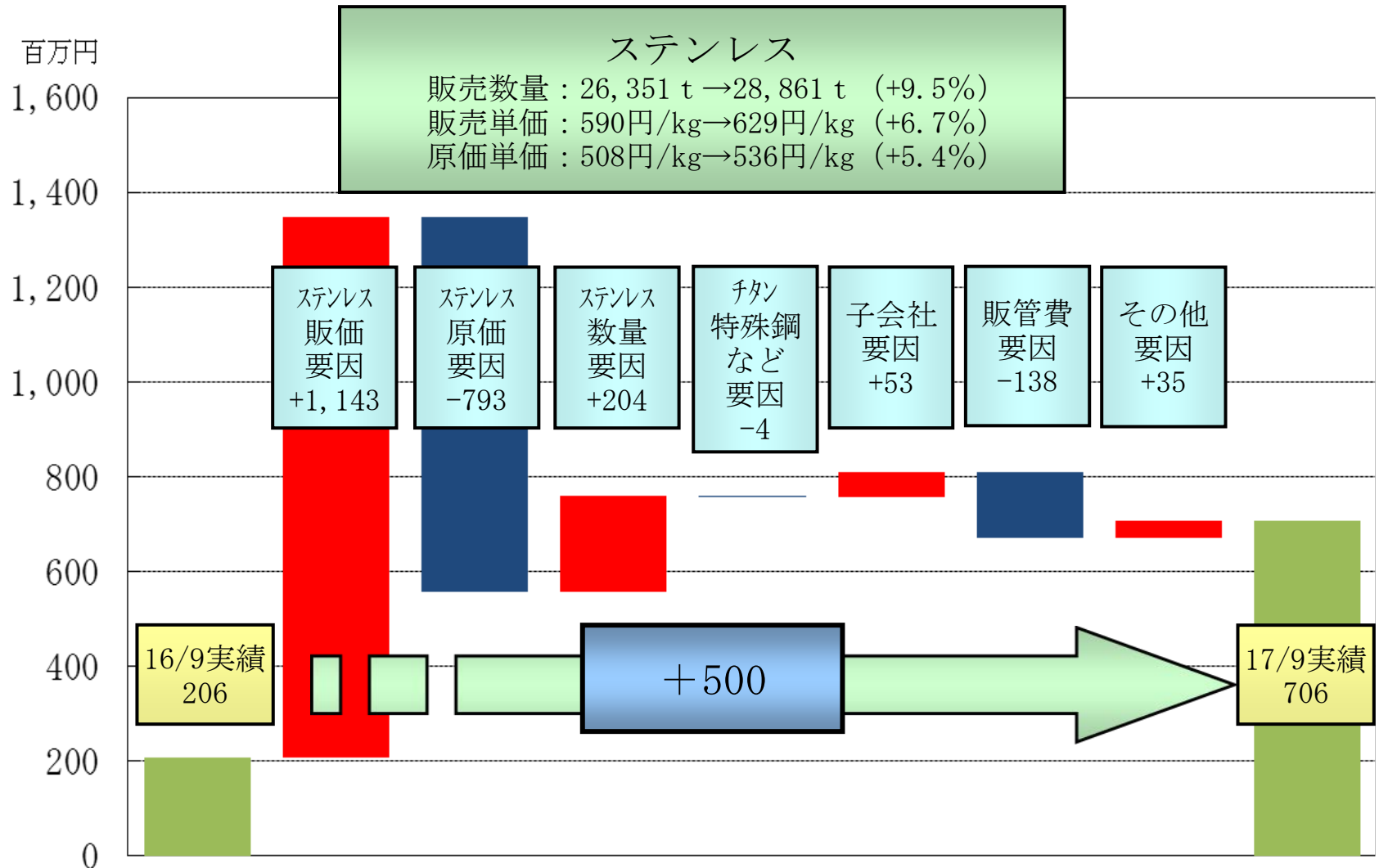
利益推移 (連結)

単位：百万円



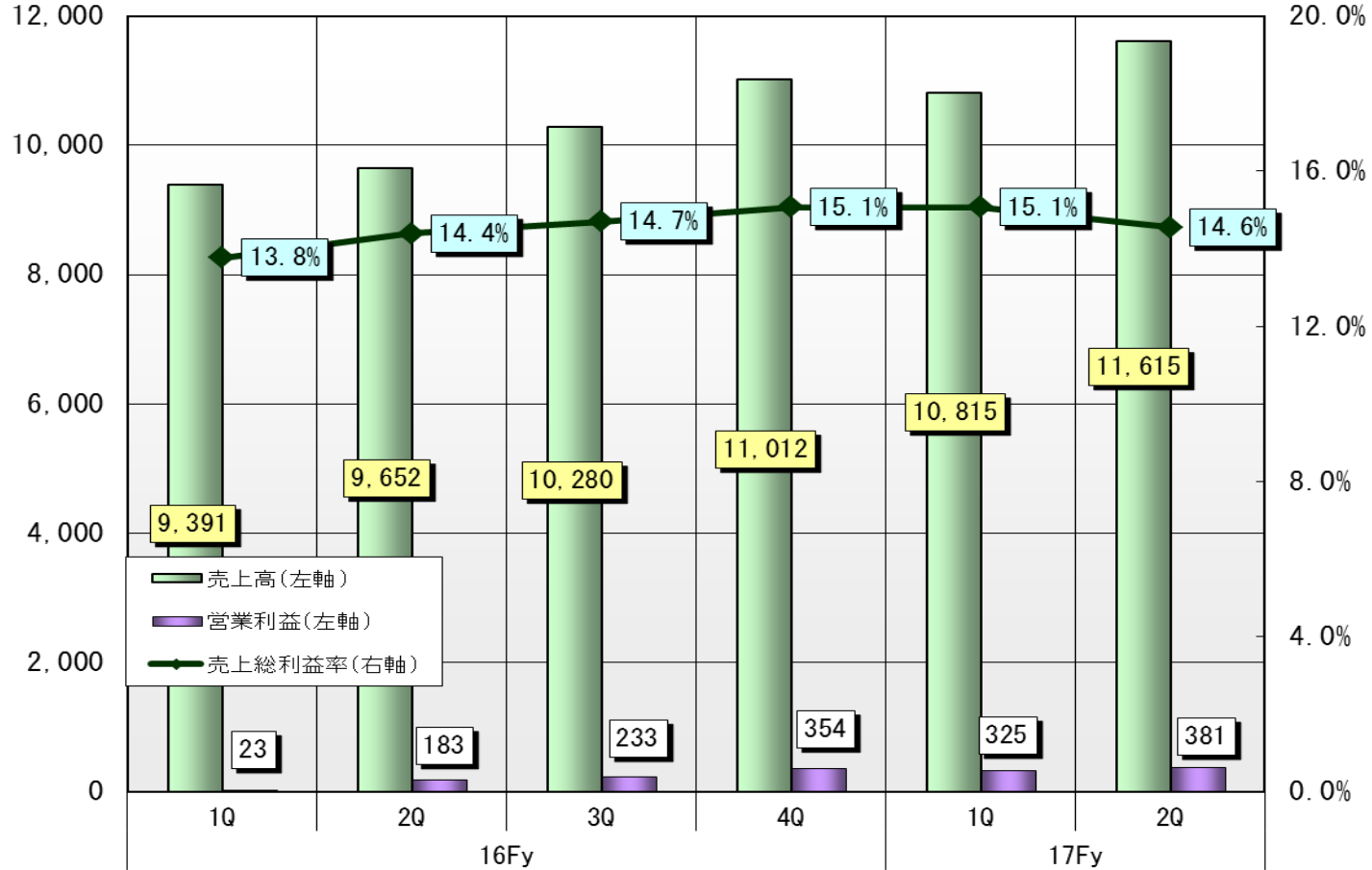
■ 13年9月期以降安定的に利益を計上しており、当期は大幅増益。

連結営業利益変動要因分析(前年同期比)



売上高・売上総利益率・営業利益四半期別推移（連結）

単位：百万円



■ 売上高は右肩上がり、売上総利益率は16Fy2Q以降高水準で推移し、営業利益も増加傾向となる。

販売費及び一般管理費（連結）

単位：百万円

	16/9実績	前年同期比	17/9実績
売上高	19,043	+17.8%	22,430
販売費及び一般管理費	2,477	+5.6%	2,615
（販管费率）	（13.0%）		（11.7%）
（うち 人件費）	1,382	+7.5%	1,485
（うち 荷造運搬費）	423	+4.5%	442
（うち 家賃地代・賃借料）	116	+2.6%	119
（うち 減価償却費）	142	-13.9%	123

■ 売上高は前年同期比17.8%増加したが、販管費は5.6%の増加に留まり、販管费率は13.0%から11.7%に低下。

連結貸借対照表

単位：百万円

	17/3/31 現在	----- 17/3/31比	17/9/30 現在
資産の部			
流動資産	22,312	+8.9%	24,294
（うち 受取手形及び売掛金）	12,003	+17.2%	14,068
（うち 商品など）	6,811	-0.0%	6,809
固定資産	9,537	+0.1%	9,544
資産合計	31,850	+6.2%	33,837
負債の部			
流動負債	18,556	+8.5%	20,136
（うち 支払手形及び買掛金）	12,892	+16.4%	15,006
固定負債	2,842	-3.6%	2,741
負債合計	21,398	+6.9%	22,877
純資産の部			
純資産合計	10,452	+4.9%	10,960
負債・純資産合計	31,850	+6.2%	33,837

- 売上高の増加により、受取手形・売掛金、支払手形・買掛金ともに増加。
- それに伴い資産、負債ともに増加。

連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	16/9実績	17/9実績
営業活動によるキャッシュフロー	201	687
投資活動によるキャッシュフロー	-52	-122
財務活動によるキャッシュフロー	-63	-731
現金及び現金同等物に係わる換算差額	-39	0
現金及び現金同等物の増減額	46	-167

セグメント別会社一覧

単位：百万円

事業区分	会社名	資本金	出資比率 (%)	売上高		事業内容
				16/9実績	17/9実績	
【第1セグメント】 ステンレス鋼などの販売	U E X (当社)	1,512	—	18,266	21,563	ステンレス鋼などの在庫加工販売
	U E X 管材	12.8	90	598	643	鋼管・鋼材・継手類の販売
	日進ステンレス	20	100	747	1,178	半導体装置用ステンレス鋼管等の販売
	ナカタニ ※	10	33.6	1,855	2,020	鋳造品・鍛造品・機械部品などの設計・加工・販売
	ステンレス急送	10	100	199	206	貨物自動車運送業
【第2セグメント】 加工製品の製造・販売	大崎製作所	15.5	100	483	484	有圧換気扇ウェザーカバーのOEM生産
	上海U E X	千US\$ 2,000	100	8,479千元	5,952千元	鋼管加工製品の製造・販売
【第3セグメント】 機械装置・エンジニアリング	上野エンジニアリング	60	90	180	194	一般産業用機械装置の設計・製作

※ 持分法適用会社

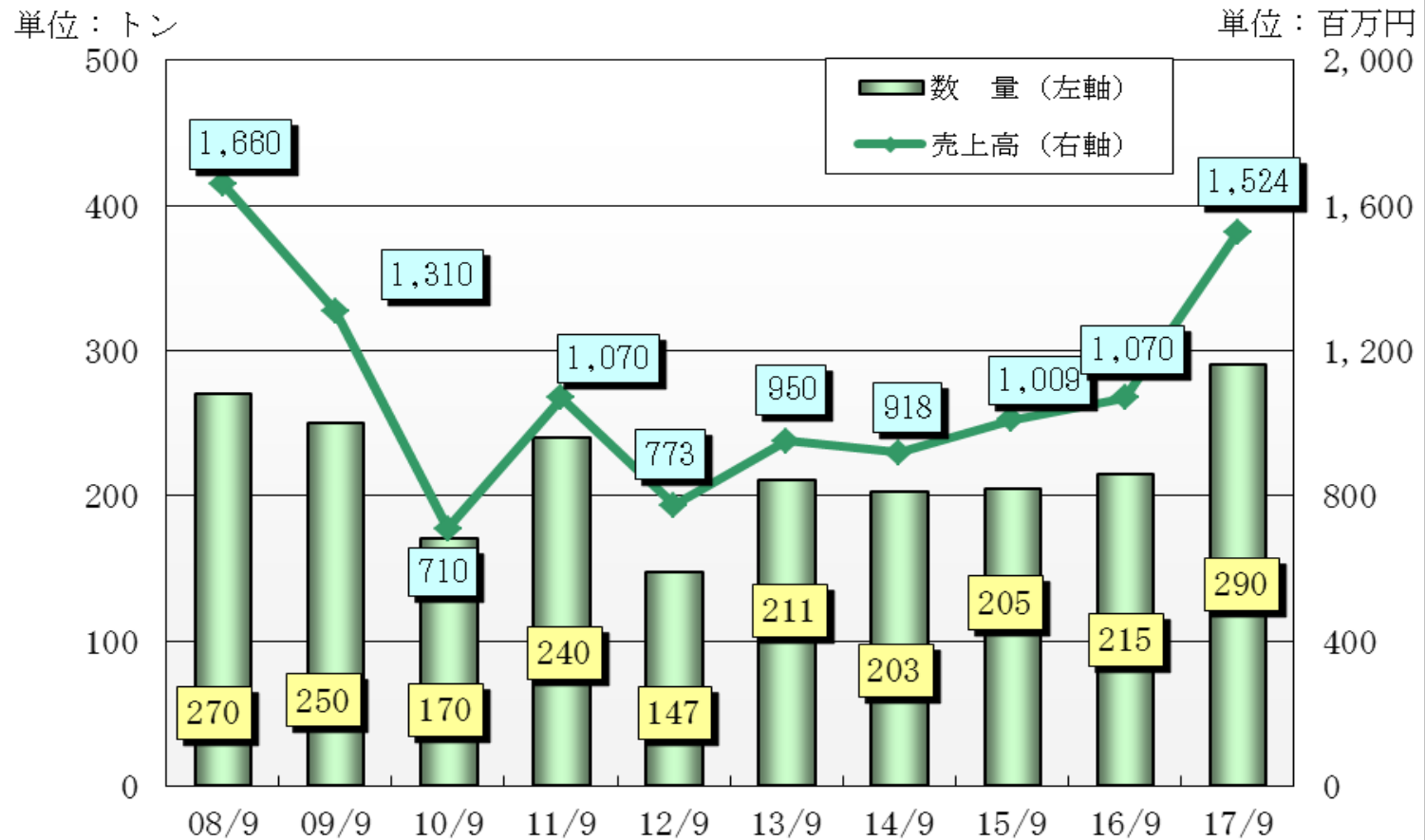
セグメント別の状況

	売上高			営業利益		
	16/9期	17/9期	前年 同期比	16/9期	17/9期	前年 同期比
【第1】ステンレス鋼などの販売	18,364	21,708	+18.2%	151	657	+336.6%
【第2】加工製品の製造・販売	499	528	+5.9%	82	75	-9.2%
【第3】機械装置及びエンジニアリング	180	193	+7.3%	-32	-26	—
調整	—	—	—	6	0	-100.3%
合計	19,043	22,430	+17.8%	206	706	+242.7%

単位：百万円

- 【第1】販売数量の増加と販売価格の上昇などにより増収、売上総利益率も上昇し増益。
- 【第2】中国の造管事業は主要顧客向けが減少したが、国内建築分野のステンレス加工品販売は好調であり増収、造管事業の減収響き減益。
- 【第3】売上高は前年同期を上回ったものの、販管費を賄うことができず営業赤字。

チタンの販売概況



■ チタン展伸材の全国出荷量（4月～7月の4ヶ月間）は、4,575トンと前年同期の4,807トンから4.8%減少。当社の上期販売量は290トンと34.9%増加。

2018年3月期連結業績見通し

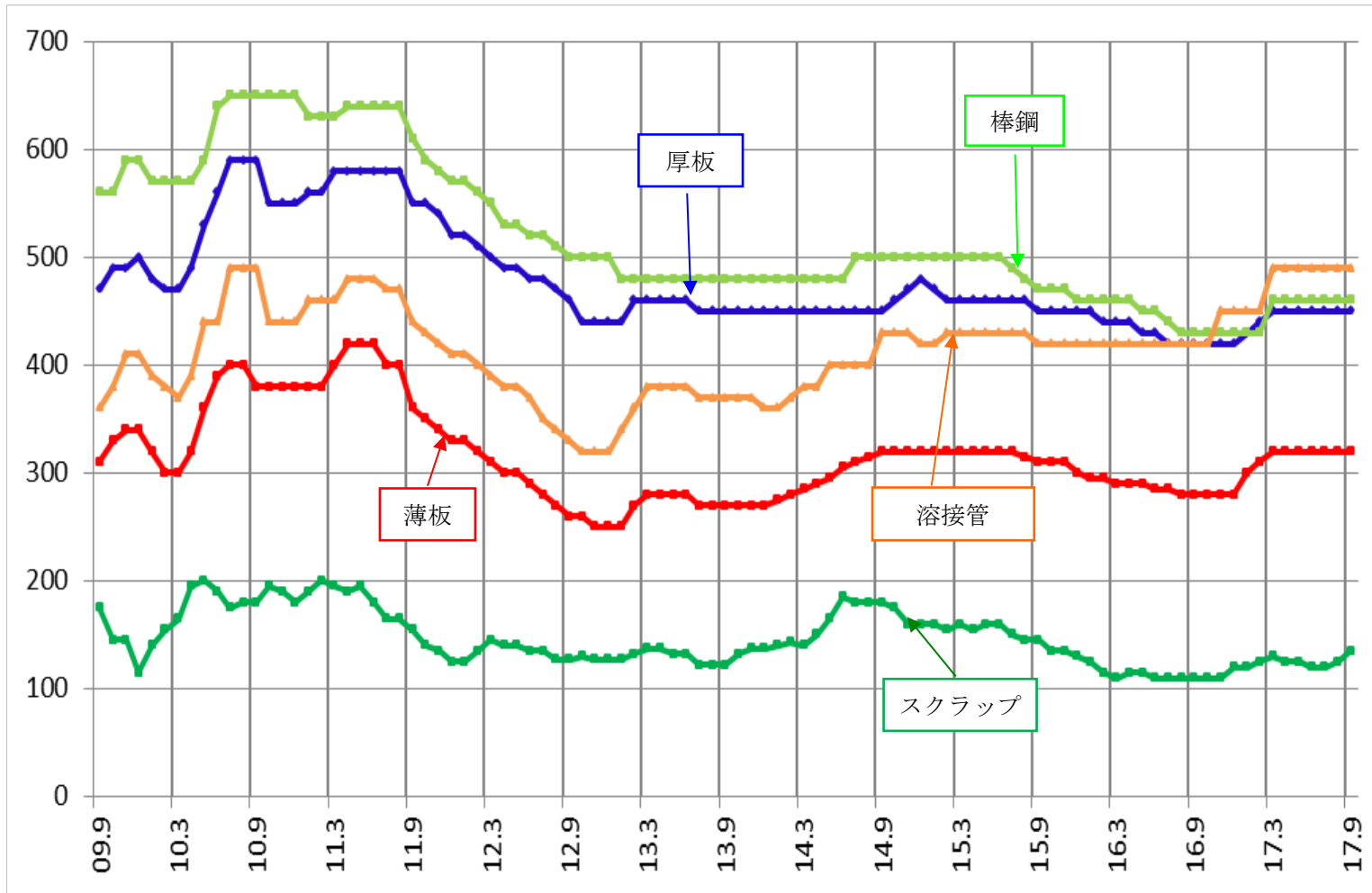
単位：百万円

	17/3 (実績)	上期 ①	下期 ②—①	18/3計画 ②	前期比	《参考》 18/3計画 【単体】
売上高	40,335	22,430	19,570～ 23,570	42,000～ 46,000	+4.1%～ +14.0%	42,900
売上総利益	5,855	3,321	2,709～ 4,049	6,030～ 7,370	+3.0%～ +25.9%	5,800
(率)	(14.5%)	(14.8%)	—	—	—	(13.5%)
営業利益	793	706	494～ 794	1,200～ 1,500	+51.3%～ +89.1%	1,020
経常利益	808	723	477～ 777	1,200～ 1,500	+48.6%～ +85.7%	1,170
親会社株主に帰属 する当期純利益	462	513	337～ 587	850～ 1,100	+84.1%～ +138.3%	860

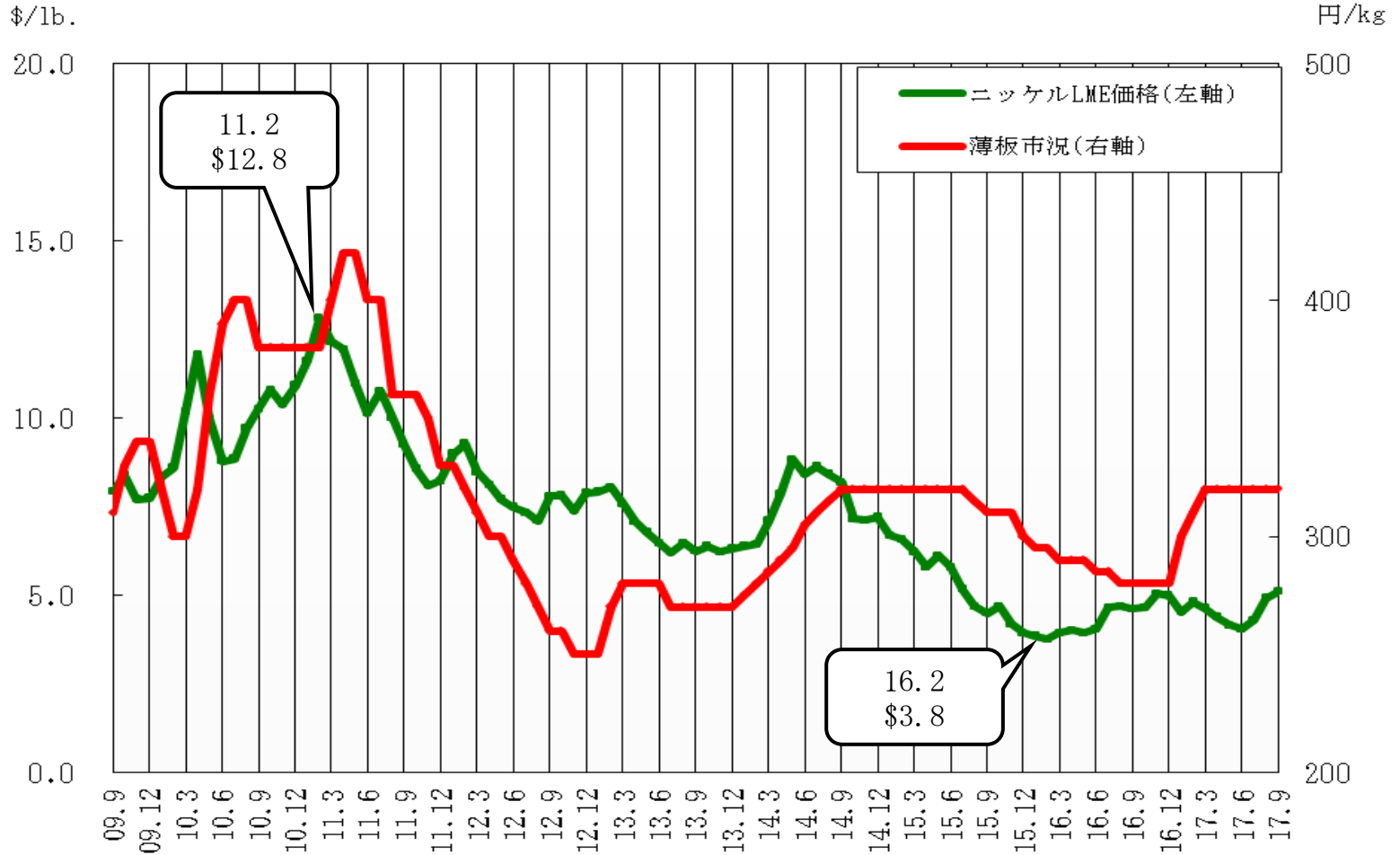
- 通期計画は、需給タイトの為、連結・単体ともに期初計画から上方修正。
- 子会社は、第1セグメント高水準継続、第3セグメントは通期で黒字化見込み。

ステンレス市況推移

(円/kg)

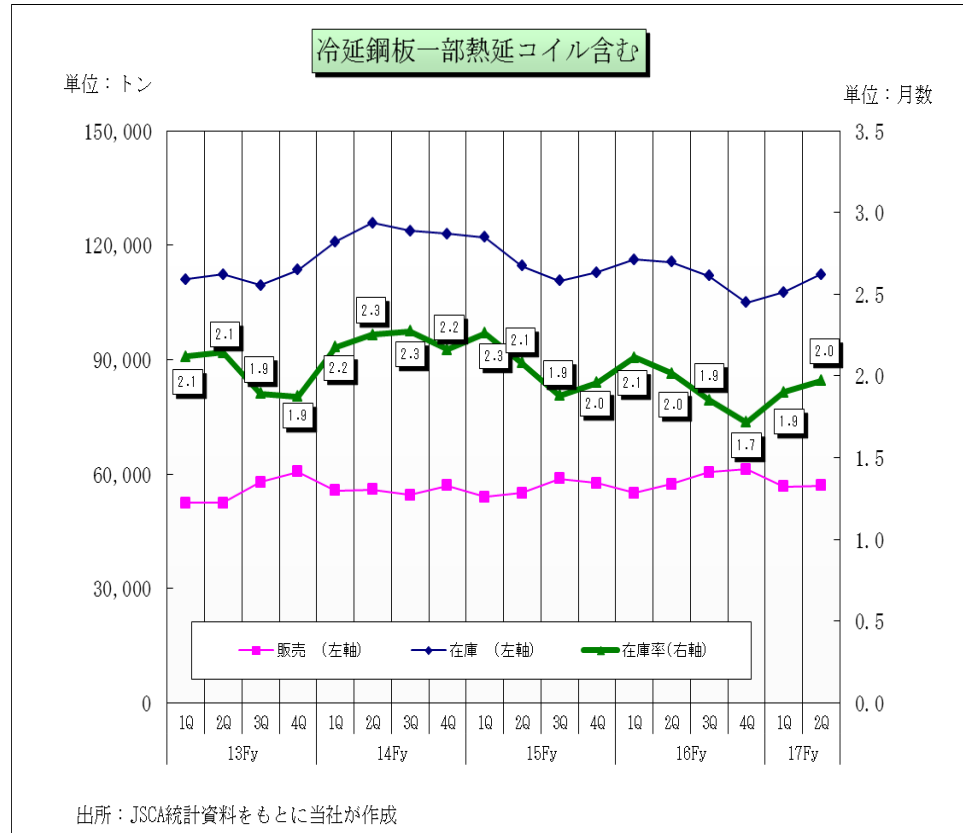
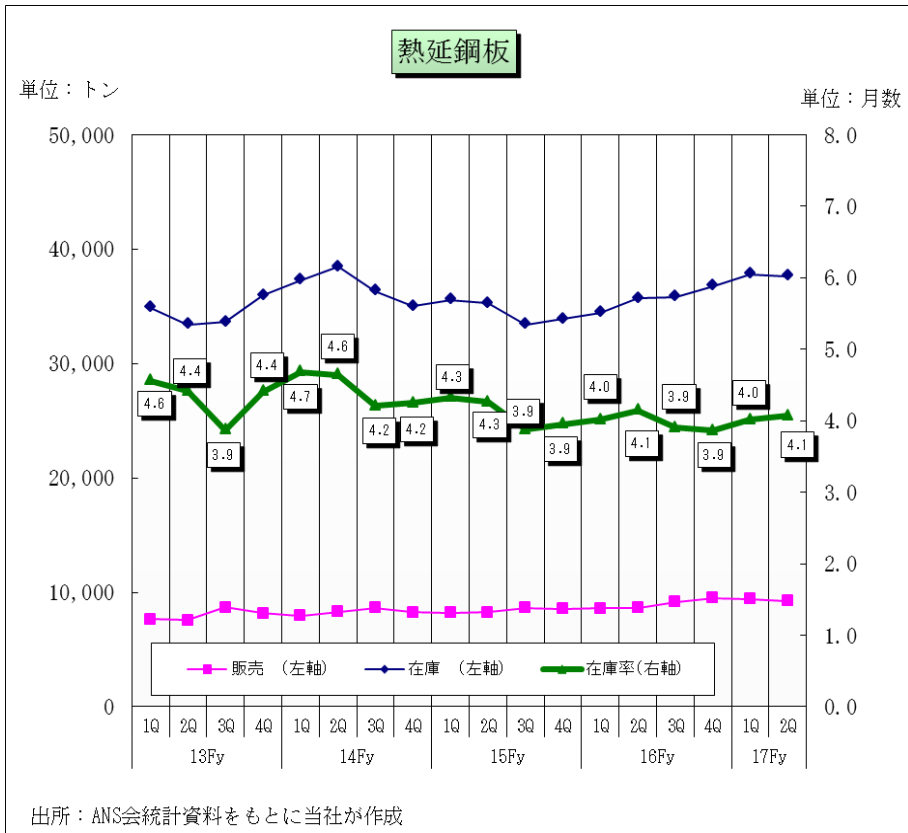


ステンレス価格とニッケルLME価格の推移



出所：U E X調べ（薄板市況）

ステンレス鋼板市中在庫状況

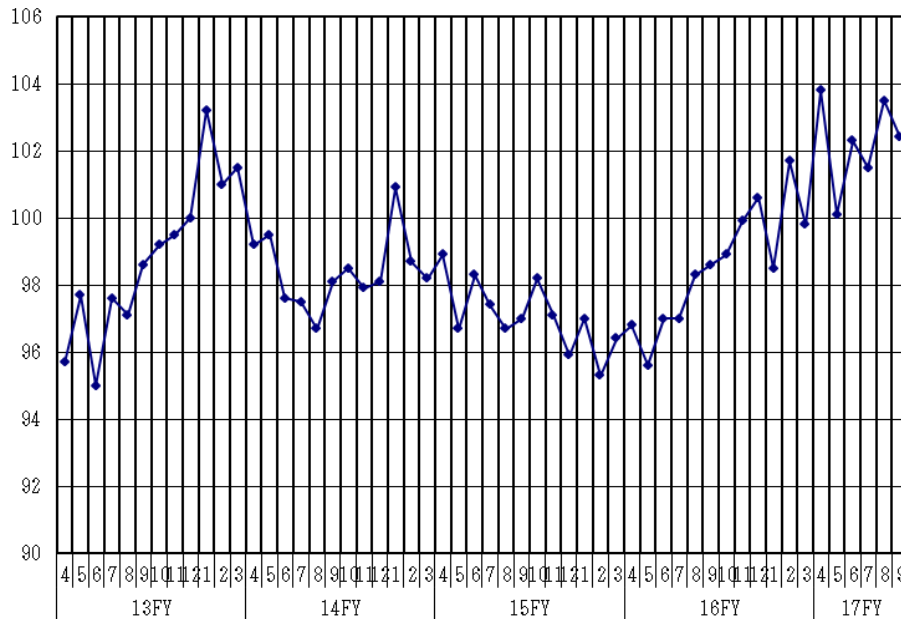


■ 熱延鋼板は、足下販売動向横這いの中在庫量は増加傾向で在庫率は若干悪化気味。
 ■ 冷延鋼板は、16Fy4Qをピークに販売量減少、在庫量増加し在庫率は悪化。

<参考> 經濟環境

鉅工業生產指數・實質GDP

2010年平均=100



出所：經濟産業省（季節調整指數）2017.10.31

機械受注 対前（月）期比

単位：%

需要者	2016		2017		7~9月 見通し
	7~9月 実績	10~12月 実績	1~3月 実績	4~6月 実績	
受注総額	-1.1	13.4	-7.9	1.7	6.5
民需	2.5	10.9	-14.4	-0.9	7.3
民需(除船電)	5.5	0.3	-1.4	-4.7	7.0
製造業	1.9	2.7	-4.2	3.7	-1.8
非製造業(除船電)	6.2	-1.0	0.0	-9.9	13.5
官公需	8.3	13.5	-1.9	-17.6	14.7
外需	-8.6	15.5	-2.2	9.6	6.2
代理店	7.5	-0.1	2.2	4.2	2.4

出所：内閣府 機械受注統計（季節調整値）2017.10.11

	13Fy				14Fy				15Fy				16Fy				17Fy
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
実質GDP	0.8	0.4	-0.3	1.2	-1.8	-0.5	0.5	1.1	-0.4	0.4	-0.2	0.5	0.4	0.2	0.4	0.3	0.6

出所：内閣府（実質季節調整系列：前期比）2017.9.8

↓
年率換算
2.5%